

9月の職員オススメ本



「しふく弁当ききみみ堂」

冬森 灯／著 双葉社

町の片隅にある弁当店「ききみみ堂」にはさまざまな事情を抱えた人々が訪れます。作り手の思いがこもったお弁当を通じて、食べる人の心に寄り添い、時に励まし、時に支えとなる…そんな小さな交流が積み重なり、地域の絆が広がっていきます。家庭の味、季節の食材、そして「誰かに食べてもらいたい」という気持ち、人と人の心を温かくつなぎ直していく過程をやさしく描いた一冊です。

読後には、身近な人への思いやりをもう一度大切にしたいくなるでしょう。



「ネバーランドの向こう側」

佐原 ひかり／著 PHP研究所

お肉のパックって冷蔵庫のチルド室に入れるの？洗濯機……ボタン、コース、選択肢が多すぎる、どこをどうさわればいいの？家事ができず、実家で何不自由ない生活を送っていた箱入り娘の実日子、三十歳。大好きな両親が交通事故で亡くなり、叔母と一緒に暮らす羽目になってしまふ。叔母と波長が合わず、実日子は人生初の一人暮らしを決意するのだが……。

一人暮らしをきっかけに実日子が様々な人と出会い、成長していく物語です。



「すきだらけのビストロ うつくしき一皿」

冬森 灯／著 ポプラ社

黒猫のようなギャルソンの弟・颯真と白熊のようなシェフの兄・有悟は、キッチンカーとサーカステントで料理を提供する移動式ビストロ「つくし」を営んでいる。マダムウイとの約束を果たすため、全国を旅しながらお世話になった翁を探しつつ、訪れた先で出会ったお客様の悩みを解決し、美味しい料理で癒やしていく。

人と人とが織りなす優しい物語です。